

地域農業の明日を考える シンポジウム2018

担い手の経営力強化による 地域農業の持続的発展に向けて

入場無料

定員 **150名**

各市町村
農業担当課等へ
事前予約制

法人化を契機にした作業の効率化・コスト低減等をはじめとする
担い手への農地集積の加速的展開が求められる中、

本県においても、「農地中間管理事業」の普及・活用が着実に拡大している状況にあります。

また、国にあっては「農業競争力強化プログラム」に基づき「農業競争力強化支援法」等の法整備を通じて、
農業版成長戦略に掲げる「KPI(数値目標)」の確実な達成に向け、都道府県単位での農業経営相談所設置など、
具体的な措置・制度の拡充を進めています。

こうした中、県内における担い手の経営力向上を図るため、行政・JA等関係団体による継続的な支援はもとより、
経営体単位の課題解決のための多様な取り組みの拡充・強化が急がれています。

そこで、県内の認定農業者や担い手経営体・組織リーダー、行政・JA等支援機関の関係者が一堂に会し、
近未来における具体的な共通目標、そのための解決すべき課題を明らかにし、共有するため、
このシンポジウムを開催するものです。

日時 平成30年11月15日(木) 13時~16時

場所 TKPガーデンシティ勾当台2階 ホール1

(仙台市青葉区国分町3丁目6-1 仙台パークビル)※仙台市営地下鉄 勾当台公園駅 北1番出口 徒歩3分

内 容

(1)基調講演



『地域農業発展への期待と 農地中間管理事業の役割』

公益社団法人 全国農地保有合理化協会
会 長 渡辺 好明 氏

(2)先進事例紹介



『スマート農業の現状と今後の展望』

北海道大学大学院農学研究院副研究院長・教授
博士(農学) 野口 伸 氏

(3)現地事例報告

『(農)井土生産組合における取り組み』

農事組合法人井土生産組合
代表理事組合長 鈴木 保則 氏

(4)パネル討議

テーマ 『農地中間管理事業活用による 営農活動展開の方向性』

コーディネーター 宮城大学食産業学群教授
博士(農学) 森田 明 氏

(5)申し合わせ(案)の採択

お申込み方法は、裏面をご覧ください。

◆主 催／公益社団法人みやぎ農業振興公社(宮城県農地中間管理機構、宮城県青年農業者等育成センター)
宮城県担い手育成総合支援協議会(宮城県農業経営相談所)

◆お問い合わせ／(公社)みやぎ農業振興公社 ☎022-275-9192 FAX022-275-9195

地域農業の明日を考える シンポジウム2018

担い手の経営力強化による
地域農業の持続的発展に向けて

平成30年 **11月15日(木)**

13時~16時

TKPガーデンシティ勾当台

下の参加申込書により、事務局までお申し込みください。

切り日

平成30年11月8日(木)まで

事務局

(公社)みやぎ農業振興公社

担い手育成・総務部農地集積班及び担い手育成班(宮城県担い手育成総合支援協議会事務局)

●住所:〒981-0914 仙台市青葉区雨宮町4番17号 宮城県仙台合同庁舎9階

●TEL:022-275-9192 ●FAX:022-275-9195

●Eメール:ninaite@miyagi-agri.com



プロフィール

わたなべ よしあき
渡辺 好明 氏

新潟食料農業大学学長
(公社)全国農地保有合理化協会会長
(一社)全国米麦改良協会会長

昭和20年東京都出身、昭和43年東京教育大学卒業、環境庁水質保
全局長、農林水産省構造改善局長、水産庁長官などを経て、平成14
年農林水産事務次官、16年~18年、小泉内閣の総理大臣補佐官
(郵政民営化担当)

マーケットイン・フードチェーンを重視、「農場から食卓へ」を目指して
「食と農」、「都市と農村」の連携強化に取り組んでいる。



プロフィール

のぐち のぼる
野口 伸 氏

北海道大学大学院農学研究院
副研究院長・教授
(専門:生物環境情報学、農業ロボット工学)

主な略歴 北海道大学大学院農学研究科博士課程修了(1990)、日本
学術会議連携会員(2015-現在)。内閣府戦略的イノベーション創造プロ
グラム「次世代農林水産業創造技術」プログラムディレクター(2016-現在)。
海外における学術活動 イタリア ポローニャクラブ会員(2010-現
在)、中国西北農林科技大学 客員教授(2012-現在)他。
学会活動 日本生物環境工学会理事長(2017-現在)他。
学術表彰 農業機械学会研究奨励賞(1994)を皮切りに多数受賞。

FAX 022-275-9195 ✉ ninaite@miyagi-agri.com

地域農業の明日を考えるシンポジウム2018《参加申込書》

平成30年11月15日(木)開催のシンポジウムに、以下のとおり、参加を申込みます。

平成 年 月 日

団体等名称: _____

ご担当者: _____

連絡先 TEL: _____

連絡先 E-mail: _____

所属部署(組織)	役 職 名	氏 名	備 考

※氏名等が確定していない場合は、右記の()欄に人数のみ記載願います。 以上、()名の参加となります。

※送り状は不要です。本様式に記入いただき、このまま送信してください。